

科目名	児 童 文 化	教員名	山田 克己 小西 修一	開 講	保育科	1年次	後 期
<p>・目的と内容</p> <p>この演習の前半では、子どもという存在を児童文化を通してグローバルな視点から捉えることをしたい。よって、日本における児童文化と諸外国の児童文化の歴史を紹介し、そこから国家が捉える子ども像を明らかにすると共に、様々な素晴らしい作品を紹介する。また、おもちゃについても文学作品同様、国の違いによる特徴があるので並行して紹介する。</p> <p>後半は、未満児向けのオリジナル絵本を作成し、作品に作者の思いを注入することの大切さと、難しさを体験すると共に、効果的な読み方や提示の仕方を学ぶ。又、絵本の作成と平行して一人ひとりにジャグリングに取り組みさせる。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：1 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[後期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．オリエンテーション 2．日本の児童文化の歴史（児童文学・絵本） 3．日本の児童文化の歴史（遊びの文化） 4．世界の児童文化の歴史（児童文学・絵本） 5．世界の児童文化の歴史（遊びの文化） 6．絵本作成 ジャグリングの練習 7．絵本作成 ジャグリングの練習 8．絵本作成 ジャグリングの練習 9．絵本作成 ジャグリングの練習 10．絵本作成 ジャグリングの練習 11．絵本作成 ジャグリングの練習 12．作品発表準備 ジャグリングの練習 13．作品発表 ジャグリングの発表 14．作品発表 ジャグリングの発表 15．まとめ 							
<p>・講義の進め方</p> <p>5 回までは講義形式で行う。6 回目以降は、各自がオリジナル絵本の作成とジャグリングの練習を行い、グループ毎に発表する。発表については、学外における発表も考える。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>・出席率・参加態度及びオリジナル絵本の内容・ジャグリングの技能で評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>各自が作成したオリジナル絵本は、2 年次の保育園及び幼稚園の実習において子どもの前で実演する事も目的であるので、期日までに完成させることができる計画性と集中力が要求されるので、気合を入れて取り組んでほしい。又、ジャグリングは保育現場で子どもとのふれあいにおいて有効なものになります。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：なし 参考書：必要に応じて配布する ジャグリングの用具</p>							